

会報「技術士しぞーか」

公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部
事務局連絡先 Phone : 080-9194-4715 E-mail : ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp
支部長 : 加藤信之 事務局長 : 松世麻理子 会計 : 小澤 靖 広報 : 須永浩介



撮影 : 須永 浩介

2024年9月16日 静岡県島田市 牧之原公園から臨む牧之原台地

目次

◆ 【特集：年次大会】2024年度・通算9回 静岡県支部年次大会報告 6月1日に実施した年次大会と記念講演の報告です。	P2
◆ 協賛会員（企業）一覧	P4
◆ 技術士合格者説明会報告 6月22日に静岡県支部主催で実施した合格者説明会の報告です。	P5
◆ 令和6年度（公社）日本技術士会会長表彰を受賞して 当支部の役員である山之上様が日本技術士会より会長表彰を頂きました。	P6
CPD例会とテクノロジーカフェの実績と予定	

表紙の写真説明

撮影場所：静岡県島田市 牧之原公園（島田市金谷富士見町 1701-1）

撮影者：須永 浩介（2024年9月16日）

牧之原台地は、静岡県中西部、遠州地方南東部にある台地（洪積台地）であり、地下温水に含まれる付随ガスには80%以上の高い割合でメタンが豊富に含まれています。

※詳細は、次号掲載予定の第2回講演会報告に掲載します。

また、牧之原公園からの夜景は「日本夜景遺産」に登録されており、市街地の夜景と大井川や茶畑の明暗が、富士山や駿河湾のシルエットも含め絵画のように広がっています。

2024年度・通算9回 年次大会報告

日時 2024年6月1日(土) 14:00~16:30
男女共同参画センターあざれあ 501 会議室
ー ハイブリッド(対面+Web 配信)形式 ー
出席者 あざれあ 32名、Web 24名
(正会員 50名、準会員 1名、協賛会員 5名)



会場の様子

【概要】

今回の大会では、昨年に比べて久しぶりに多くの会員に会場にお集りいただきました。

日本技術士会中部本部の平田本部長、岐阜・愛知・三重県の各支部長、新妻秀規参議院議員の5名の方に来賓として会場に出席していただき、ありがとうございました。また記念講演では、弁護士の新野海先生に「防災テーマ」で静岡県の災害支援士業連絡会の活動を中心に講演していただきました。講演内容は大変有意義でした。

【報告事項】

年次大会資料について、松世事務局長から報告されました。以下に報告事項のトピックを列記します。

1-1 2023年度事業・決算報告(第1号報告)

CPD委員会、防災委員会などの5委員会の活動報告がありました。CPD例会は、オンラインと対面式講演会の組み合わせ(ハイブリッド)による講演形式が定着し、また清水港の見学会や地区例会の開催などコロナ渦では実施できなかった取り組みが復活し、今後の会員のCPD活動の充実につながっているものと考えています。例会参加者総数は前年度(2022年)に比べ40名増え、延べ285名の参加でした。少しずつですが、コロナの納まりに合わせて会員の活動参加が活発になってきております。

防災委員会は、11月の技術士全国大会(愛知・中部)にて、静岡県支部の防災活動を全国の方々に知っていただくパネル展示を実施しました。

社会貢献委員会は、小学校の理科特別授業に静岡県内4校で6講座、県外小学校4校(愛知県)で4講座、また防災委員会と共同で、地震防災センターの「防災ワークショップ」に7人の参加と、コロナ禍時に比べて活発な授業が開催されました。また同じく大人を対象とするテクノロジーカフェは、2か月に1回のペースで順調に6回開催され、年間の参加総数は67人となって活発に実施されました。

広報委員会からは、静岡県支部のホームページ(HP)を全面リニューアルし、会員相互の情報共有を図るとともにSNSを通じた情報発信も行える土台が完成したことが報告されました。

事業開発委員会からは、技術士会が受ける各種公的機関からの事業案件の推進状況が報告され、これにより年間約148千円の業務管理費収入があったことが報告されました。この管理費は外部依頼管理収入として決算報告に記載されるとともに、支部運営・各種行事に活用されています。

1-2 2023年度事業計画、予算案(第2号報告)

以下の方針に従って、防災活動、市町支援、事業開発活動、社会貢献活動などをこれまで以上に拡充させていきます。

3つの基本方針

・例会形式

コロナをきっかけに対面式とオンライン同時配信するハイブリッド形式の講演会が広く学協会でも採用されており、今後も対面式での懇親会などで人脈を拡大できるというメリットと、オンライン形式での日本全国どこからでも参加できるという両方のメリットを活かして、ハイブリッド形式の講演会を採用していきたいと考えております。

・技術士の社会へのアピール

若い学生を含め、技術の面白さなどをアピールし、「エンジニアになりたい」と希望を持ってもら

えるよう技術士をアピールしていきます。さらに SNS などへの展開も検討し、技術士が身近な存在だということを広く知ってもらう活動につなげていきます。

・地域社会への貢献

小学校の理科授業や静岡団塊創業塾でのテクノロジーカフェの情報発信を通じて、技術士が持っている技術を、子ども達や一般の方々に理解していただく活動は従来通り継続していきます。また静岡県は地震や風水害などの災害が多い地域です。災害対策士業連絡会を通じ、災害が発生した時の技術援助はもちろんのこと、災害を最小限に抑えるべく防災教育などを通じて、地域社会の安全に積極的に貢献していきます。

年次大会記念講演

弁護士 永野 海 氏

静岡県災害対策士業連絡会会員

中央法律事務所 弁護士・防災士



「大規模災害時の専門士業の社会的役割」

講演要旨

静岡県災害対策士業連絡会（以下、士業連絡会）は、弁護士会、司法書士会、建築士会、日本技術士会など 12 団体と県の参与で構成されています。近年は、令和元年台風 19 号以来、熱海市土石流災害、令和 4 年台風 15 号、令和 5 年台風 2 号と、静岡県内で大規模災害が発生するたびに士業連絡会では現地でも無料相談活動を行ってまいりました。熱海市の土石流、台風 15 号は被害が大きく防災直後から、毎日、土日祝日も含めて朝から夕方まで市役所内などに無料相談ブースを設置し、多くの士業会員が相談対応に当たりました。

相談内容では法律相談はほとんどなく、大半は、被災した住まいのことや、今後の住まいや生活の再建の悩みに関するものです。その結果、われわれ専門士業の支援活動も、法的な助言というよりは、住まいや生活の再建に必要な「公的支援制度」の情報提供が中心となります。また、具体的な情報提供や解決に至らなくても、士業の専門家に話を聞いてもらい、共に悩み、共に怒り、わからないことは被災者の代わりに窓口に電

話をするなどして聞き、それを被災者に伝える。あるいは、さまざまな申請書類の記入を手伝い、一緒に窓口へ提出に行く。こんな素朴な寄り添いが、被災者支援に求められます。

私は弁護士として被災者の困りごとを聞き、共に悩み、共感し、共に憤ることはできても、裏山の状況、自宅の安全性、今後必要な工事などについて助言をすることはもちろんできません。そのような相談を受けるたびに、いつも助けて下さる技術士会の先生方にご相談をされると、その度に技術士の先生方が作業着にヘルメットを着用し、われわれ弁護士が見たこともないような機器を手に地盤の調査などをして下さいます。この作業が、被災者だけでなく弁護士にとってもどれほど心強いことでしょうか。



台風 15 号現場調査の様子

このような困りごとは極めて困難な相談であり、われわれ士業が力を合わせ連携したからといって、簡単に解決できるものではありません。しかしながら、問題を解決することだけが専門士業による被災者支援ではありません。専門家が大量で、しかもボランティアでわざわざ本業の合間を縫って自宅に来てくれ、話を真剣に聞いてくれ、泥だらけになりながら山に登り、ときに見たこともないような機器を使って調査をしてくれる。その姿だけで被災者は救われます。

（記：岡井政彦）

記念講演内容は、「技術士“ちゅうぶ”第 14 号（R6.09 発行）」に永野弁護士から記事を寄せていただけています。静岡県災害対策士業連絡会と技術士会のことについて詳しく報告されます。

協賛会員（企業）一覧

当支部の活動を協賛会員として賛同していただいております会社・団体をご紹介します。

2024年4月現在 18社（敬称略）

会社名	役職	代表者氏名	住所
(株) 共和コンサルタント	代表取締役社長	杉本 洋	浜松市
(株) 建設コンサルタントセンター	代表取締役社長	小田 秀昭	静岡市
太洋電機 (株)	代表取締役社長	田中 茂	静岡市
(株) 日本地理コンサルタント	代表取締役社長	山田 巧	静岡市
(株) 東日	代表取締役社長	芹澤 秀樹	沼津市
(株) 中部総合コンサルタント	代表取締役社長	豊田 哲也	浜松市
吉田測量設計 (株)	代表取締役社長	石野 直之	浜松市
昭和設計 (株)	代表取締役社長	荒山 晃	静岡市
(株) 蓮池設計※	代表取締役社長	蓮池 康彦	浜松市
不二総合コンサルタント (株) ※	代表取締役社長	牧田 敏明	浜松市
(株) フジヤマ※	代表取締役社長	藤山 義修	浜松市
大鐘測量設計 (株)	代表取締役社長	塚本 好明	島田市
服部エンジニア (株) ※	代表取締役社長	服部 剛明	静岡市
静岡コンサルタント(株)	代表取締役社長	二村 繁靖	三島市
富士設計 (株)	代表取締役社長	小野寺 敦嗣	富士宮市
小林電気工業株式会社	代表取締役社長	小林 克也	沼津市
株式会社アースシフト	代表取締役社長	近藤 隆智	静岡市
(株) ウインディーネットワーク	代表取締役	杉本 憲一	下田市

※は2口加入の会員

技術士試験合格者説明会

技術士二次試験の合格者2名、一次試験合格者2名をお迎えして、合格者説明会を対面で実施しました。



合格者説明会参加者の皆様と

1. 概要

日時：2024年6月22日(土) 15:00～16:30

場所：男女共同参画センターあざれあ 第2会議室

参加者：8名（二次合格2名、一次合格者2名、既会員4名）

式次第：

開会挨拶 加藤支部長
技術士会の概要説明 加藤支部長
参加者自己紹介 新合格者、既会員

2. 内容

加藤支部長からの挨拶、技術士会の概要説明のあと、新合格者の皆様の自己紹介を行いました。新合格者の皆様は機械2名、建設1名、生物工学1名と様々でした。今までの経歴や技術士を目指したきっかけなどをお話いただき、初対面にもかかわらず終始和やかな雰囲気でした。

17時からレストラン Aoki で懇親会を行いました。一次合格者2名、二次合格者2名、役員3名の6名参加が参加しました。打ち解けた雰囲気で交流できました。

3. アンケート

今回も、新合格者向けにアンケートを実施しました。結果は以下の通りです。(回答者3名)

【質問1】今回の行事を何でお知りになりましたか？

【回答】「静岡県支部からのダイレクトメール」2名、「静岡県支部のメーリングリスト」1名。

【質問2】今回の行事に出席しようと思った理由を教えてください。

【回答】「県支部の活動内容が知りたかった」2名、「同じ合格者と意見交換したかった」1名、「人脈を広げたかった」1名。

【質問3】上記の目的は達成できましたか？

【回答】「できた」2名、「だいたいできた」1名。

【質問4】上記の回答の理由を教えてください。

【回答】

・他部門の方との人脈が作れたこと、県支部の様子を知ることができたこと。

・説明と懇親会で聞きたいことを聞けたため。

【質問5】合格者説明会の内容は有益でしたか？

【回答】「そう思う」3名。

【質問6】上記の回答の理由を教えてください。

【回答】

・他部門の方との人脈が作れたこと、県支部の様子を知ることができたこと。

・静岡県支部の雰囲気がわかったので、これからの講演会等の参加に関心が持てるようになった。

【問題7】全体を通してご意見ご感想ありましたら教えてください。

【回答】すごくフォーマルな説明会と思っていましたが、話しやすく楽しかったです。

4. 所感

説明会、懇親会に出席された方にはご満足いただけたようで何よりでした。ただ、説明会の準備にあたり、合格者の出席者4名、資料のみ希望された方3名としか連絡が取れなかったこと、「合格時の資料に同封されたチラシ」で行事をお知りになった方がいなかったことから、合格者説明会の広報については再考が必要と感じました。また、人脈を広げたかったという回答があったことから、出席者が増えるような方策を考えたいと思います。

合格者の皆様のご活躍に期待したいと思います。
(記：松世麻理子)

令和6年度（公社）日本技術士会会長表彰を受賞して

この度、元静岡県支部長の山之上誠氏が日本技術士会会長表彰を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。山之上氏からご挨拶をいただきました。今後のご活躍を祈念いたします。

この度は、日本技術士会から栄えある会長表彰をいただきありがとうございます。

私は、1995年に技術士登録、2013年に日本技術士会に入会しました。

技術士会の役員としての経歴は、2015年から中部本部幹事および静岡県支部幹事、2019年～2年間は静岡県支部長をさせていただきました。

改めてですが、静岡県技術士協会時代の諸先輩ならびに日本技術士会でお世話になっている会員の皆様方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

以下に、主だった活動ならびに仕事への思いを記載します。

1. 静岡県支部の活動

静岡県支部の活動では、防災の取組に関わりました。静岡県、静岡市そして牧之原市と災害協定を締結しました。牧之原市の建設関係者の技術レベルを底上げすることを目的に協定締結に至りましたが、助言依頼を受け、対応する技術交流も継続中です。

さらに、統括本部防災委員会の支援を受け、防災冊子「家族で考える防災Q&A」を発行、静岡県内に約6千部を配布しました。会員の協力で各地域の自主防災会に配布ができました。これらの防災活動を積み重ね、その後に弁護士会を中心とする静岡県災害対策士業連絡会の一員になり台風15号などの被災者支援活動に繋がりました。

一方、社会貢献活動の一環としてテクノロジーカフェを立ち上げました。2015年から会員が専門技術をわかりやすく一般の方に話す機会を定期的につくりました。この8月で通算76回目を数えま

す。この活動は、主催者のNPO法人静岡団塊創業塾の主旨・目的に添うところが大きいです。主催者側の会運営への助言時には厳しいご指摘もありますが、静岡県支部会員の皆様方のご支援協力で継続中です。



山之上誠氏

2. わたしと仕事

私の建設部門の選択科目は「施工計画、施工設備及び積算」です。受験当時は、ゼネコンの技術者も技術士取得をという動きが出てきた頃でした。幸いにも合格でき、新たに技術士会という組織に入会することになりました。自分が習得した技術に対する考え方に対して大きなターニングポイントになりました。

現在も、地元の建設会社に所属しています。建設工事の施工管理に関すること、自身の経験知の還元にはやりがいがあります。最近では技術士補の社員育成にも関わります。倫理要綱のなかに「真実性の確保」があります。技術士を社員に置き換え、～報告、説明または発表を客観的で事実に基づいた情報を用いて行う～というフレーズを重宝するとともに、「正しいことを言う」ことを、機会があるごとに話しております。

さいごに、これからの技術士に必要なことは社会との付き合いを大切に自分の強みを活かし還元していくことに尽きると信じております。

文責：日本技術士会中部本部 静岡県支部幹事
山之上 誠

CPD 例会とテクノロジーカフェの実績と予定

■ CPD 例会実績と来年度の計画

名称	月・日	内容
支部年次大会 第1回記念講演	2024年6月3日(土)	記念講演 「大規模災害時の専門士業の社会的役割」 中央法律事務所 弁護士 永野 海 氏
第2回例会	2024年8月17日(土)	テーマ「気候変動対策に貢献するエネルギー技術」 講演1 「量産EV発売から15年。EVの現在地」 株式会社モズラボ 代表取締役(元明電舎) 森田 一徳 氏 講演2 「静岡県の地層と新エネルギー」 静岡大学グリーン科学技術研究所 教授 木村 浩之 氏
第3回例会	2024年10月12日(土)	テーマ「命を守り社会経済を支える土木技術」 講演1 「持続可能な自然環境と社会を創造するための技術」 東海大学名誉教授 田中 博通 氏 講演2 静岡県内の河川事業インフラ整備と今後の展開 市川土木株式会社 土木部参事 佐々木 元 氏
第4回例会 (見学会)	2024年11月6日(土)	見学会「株式会社明電舎 沼津事業所」 技術研修センター「Manabi-ya」および「GX 特高」見学
第5回例会	2024年12月7日(土)	テーマ「防災」「農林水産業」「新技術」等 内容検討中
第6回例会	2025年2月24日(土)	テーマ「技術者倫理」 内容検討中

※講演会ではCPD証明書を発行いたします。CPD時間：3.0h

■ テクノロジーカフェ実績と予定

日程	内容
2024年4月20日(木)	「参加のまちづくりと理科授業の意義」 深澤陽子会員 (建設、総合技術監理部門)
2024年6月15日(木)	「電気火災の発生原因とその予防策」 大嶽陽一会員 (電気電子部門)
2024年8月17日(木)	「日本の食と新しい農業のやり方と私」 杉山武彦会員 (応用理学部門)
2024年10月19日(木)	「長寿国、日本の食と健康～最新のトピックスを含めて～」 小川浩一会員 (生物工学)
2023年12月19日(木)	内容検討中
2024年2月20日(木)	内容検討中

※テクノロジーカフェは、NPO法人静岡団塊創業塾主催の講座の一つとして開催されておりますが、その内容は、市民の方々に技術士の知名度を広めるため科学や技術の話題を分かりやすく紹介する公開講座で、技術士会の会員の経験した技術を発表する機会も合わせて提供しております。テクノロジーカフェは2か月に一回、年6回開催しておりますので皆様の参加をお待ちしております。